

## 藤子食堂

**事業主体** 名称：藤子食堂  
住所：和気町藤野  
**事業実施場所** 藤野会館、藤野民宿

～事業を始めるにあたって～

(地域の現状・課題・目標など)

昨年、一昨年と本事業の委託を受けて、藤子食堂を開催してきました。委託期間以外にも月1回継続して開催していることもあり、多くの子どもたちや保護者・地域の方々に認知され、利用してもらえる場になっていることを実感しています。とはいえ、子どもたち全員に目が行き届いているかという点、来てくれる子も増えてきていることもあり、まだ課題が多くあると考えています。足を運んでくれた子どもたちとスタッフが対話を重ねて関係性を築き、気軽に話せる身近な大人になっていくこと、そして何か困りごとや悩みがあったときに頼れる場になれるよう、引き続き活動を続けていきたいと思えます。

～事業実施内容～

子どもの居場所づくり事業

<第1回>

- ① **事業名** 藤子食堂
- ② **参加人数** 計61名（未就学児1名、小学生29名、中学生13名、高校生2名、保護者・大人4名、ボランティア12名）
- ③ **日時** 令和7年7月25日（金）
- ④ **場所** 藤野会館
- ⑤ **内容** 食事提供、フードバンク和気らびっと提供のパン配布、希望者と一緒にゼリーに入れる白玉団子作り、カレー作り  
まなびスペース&絵画の宿題コーナーの設置、  
遊びコーナー（お絵描き・ボードゲーム・レゴ・バルーンなど）の設置  
和気中学生夏ボラ1名受入れ、和気閑谷高校生ボランティア受入れ



### ⑥活動の成果等

和気町ボランティア協会の子育てボランティアチームの方が3名来てくださり、キッチンやパンの配布等のお手伝いをしてくださった。地域の方からのサポートを感じる機会が増えてきているのを実感しました。まなびスペースでは昨年同様、絵の宿題サポートも実施しました。画用紙や絵具を持参して絵の宿題をする子はもちろん、友人たちと意欲的に夏休みの宿題に取り組む中学生の姿も多く見られ、自主学習の場となりました。和気閑谷高校生・大学生ボランティアとともに、料理やバルーンアートなど、自分の得意なこと、できることを一生懸命取り組んでくれました。カレー作り・白玉作りでは、キッチン担当の大人の話を中心に聞きながら、仲間と協力して楽しそうに料理へ取り組む姿が見られました。

<第2回>

- ①事業名 藤子食堂  
②参加人数 計 59名（未就学児3名、小学生32名、中学生12名、高校生3名、  
保護者・大人4名、ボランティア5名）  
③日時 令和7年8月1日（金）  
④場所 藤野会館  
⑤内容 食事提供（自分で冷やし中華のトッピング）、フードバンク和気らびっと提供のパン配布、まなびスペースの設置、絵の具スタンプコーナーの設置  
遊びコーナー（お絵描き・ボードゲーム・レゴ・バルーンなど）の設置  
和気中学生夏ボラ5名受入れ、和気閑谷高校生ボランティア2名受入れ



⑥活動の成果等

町内にある製麺所が今回の趣旨に協力してくださり、麺を頂くことができました。和気中学校の夏ボラが多い日だったこともあり、友人の中学生が足を運んでくれ、藤子食堂の存在や雰囲気伝えることができ良かったです。夏ボラの中学生はスタッフの指示を聞きつつ、キッチン手伝い・おにぎり作り、子どもたちとの遊び対応など主体的に動いてくれる様子が見受けられました。野菜や廃材などを使った絵具スタンプコーナーを作ると、積極的に友人と作品を作る姿が見受けられました。

<第3回>

- ①事業名 藤子食堂  
②参加人数 計 74名（未就学児3名、小学生37名、中学生17名、高校生2名、  
保護者・大人6名、ボランティア9名）  
③日時 令和7年8月8日（金）  
④場所 藤野会館  
⑤内容 食事提供（夏祭りメニューの提供ー焼きそば、アメリカンドッグ、チョコバナナ）、  
かき氷作り、フードバンク和気らびっと提供のパン配布  
和気町出前講座より講師をお招きしてボッチャ体験、まなびスペースの設置、  
遊びコーナー（お絵描き・ボードゲーム・レゴ・バルーンなど）の設置、  
和気中学生夏ボラ2名受入れ、和気閑谷高校生ボランティア受入れ



## ⑥活動の成果等

夏祭りメニューのためか、小さい子や今まで利用していなかった子も来てくれました。和気町出前講座より講師をお招きして手品披露・ボッチャ体験を行っていただきました。手品では、子どもたちから祖父母までみんなで楽しむ様子が見られました。またボッチャ体験では、経験のある子・ない子、幼稚園児から中学生まで入り混じって対戦しながら、一体感を持ちみんな楽しく戦う様子が見られました。初めての子どもたちも自然と会話し、名前を呼びあいながらプレーしており、ニュースポーツを通して交流の場が増えたと同時に、ボッチャの面白さや身近さも感じられる場になりました。

### <第4回>

- ①事業名 藤子食堂
- ②参加人数 計 63名（未就学児5名、小学生33名、中学生5名、高校生1名、  
保護者・大人8名、ボランティア11名）
- ③日時 令和7年9月27日（土）
- ④場所 藤野会館
- ⑤内容 食事提供、希望者でのお月見団子（白玉）作り、かき氷作り  
フードバンク和気らびっと提供のパン配布  
まなびスペースの設置、遊びコーナー（お絵描き・ボードゲーム・レゴなど）の設置、和気閑谷高校生ボランティア受入れ



## ⑥活動の成果等

お月見団子作りでは、小さい子も積極的にチャレンジし大人の話もきちんと聞きながら作ることができました。それぞれが粉を混ぜる感触やお団子に丸める工程など実際に食べ物に触れることを楽しみながら料理ができました。人数は限定的になりますが今後も実施していきたいです。今回から2部制にして食事の際に混雑しないよう運営できました。

### <第5回>

- ①事業名 藤子食堂
- ②参加人数 計 66名（未就学児7名、小学生34名、中学生1名、高校生3名、  
保護者・大人8名、ボランティア13名）
- ③日時 令和7年11月1日（土）
- ④場所 藤野会館
- ⑤内容 食事提供、フードバンク和気らびっと提供のパン配布  
まなびスペースの設置、遊びコーナー（お絵描き・ボードゲーム・レゴなど）の設置、和気閑谷高校生ボランティア受入れ  
近所をめぐるハロウィンスタンプラリー実施、パステルアート製作



#### ⑥活動の成果等

ハロウィンスタンプラリーでは、地域の方に協力いただき、地図を持って探しに来た子どもへお菓子を渡してもらいました。地域の方からは、「とても楽しかった。協力できることは声をかけてね」などと前向きな声もいただき、地域と子どもが触れ合える機会を作り出せました。また和気閑谷高校の生徒さんが、スタンプラリーの際に小さい子たちに付き添って子どもたちを優しく見守ってくれました。パステルアートでは、先生が丁寧に教えてくれ、とても楽しそうに作品を作り上げていました。

#### <第6回>

- ①事業名 藤子食堂
- ②参加人数 計 84 名（未就学児 12 名、小学生 42 名、中学生 6 名、高校生 1 名、保護者・大人 10 名、ボランティア 13 名）
- ③日 時 令和 7 年 11 月 29 日（土）
- ④場 所 藤野会館
- ⑤内 容 食事提供、フードバンク和気らびっと提供のパン配布  
まなびスペースの設置、遊びコーナー（お絵描き・ボードゲーム・レゴなど）の設置、和気閑谷高校生ボランティア受入れ、パステルアート製作、モールリース作り



#### ⑥活動の成果等

クリスマスランチとして、トナカイの形をしたお稲荷さんとサンタクッキーを作りました。子どもたちだけでなく、保護者の方からも好評で喜ばれました。また、いつもよりも小さい子どもを連れた家族が多くいて、「小さい子どもを連れてきても大丈夫」と家族みんなで安心して利用してくれている様子が伺えました。今回も、パステルアートとクリスマスリース作りを行うと、みんな楽しく真剣に取り組む様子が見られました。ボランティアのご家族が紙芝居を読み聞かせてくれて、小さな子どもがゆったり楽しむことができました。

<第7回>

- ①事業名 藤子食堂  
②参加人数 計76名（未就学児7名、小学生39名、中学生4名、高校生4名、保護者・大人9名、ボランティア13名）  
③日時 令和7年12月26日（金）  
④場所 藤野民宿  
⑤内容 お餅つき、食事提供（鶏汁、ココアなどホットドリンク、焼きマシュマロ、ポップコーン）、フードバンク和気らびっと提供のパン配布  
まなびスペース設置、和気閑谷高校生ボランティア受入れ、社会福祉協議会さんから輪投げ等の遊び道具のレンタル



⑥活動の成果等

乳幼児から高校生、またボランティアの大人まで幅広い年代が集まり、自然と協力しあいながらお餅つきをすることができました。お餅つきや平日に開催したこともあり、初めて参加する子どももいたが、とても楽しそうな様子が見られました。たき火をしたのだが、大人がいて見守られている環境で安心してたき火を囲んでいる様子が見受けられました。和気町だけでなく、備前市の方もお友達と一緒に足を運んでくれて様々な人が利用しやすい環境になってきているのを感じました。

<第8回>

- ①事業名 藤子食堂  
②参加人数 計82名（未就学児10名、小学生49名、中学生3名、高校生0名、保護者・大人8名、ボランティア12名）  
③日時 令和8年1月31日（土）  
④場所 藤野会館  
⑤内容 食事提供（キーマカレー、スープ、ココアなどホットドリンク、ホットケーキ&アイスクリーム）、ホットケーキ作り、フードバンク和気らびっと提供のパン配布、まなびスペース設置、社会福祉協議会さんから輪投げ等の遊び道具のレンタル、ワークショップコーナーの設置（紙コップギフトBox製作）



## ⑥活動の成果等

ホットケーキを焼いてもらうお手伝いをお願いしましたが、小さい子は粉を混ぜておいて焼くのをメインに、小学校中学年以上は粉の軽量から混ぜて焼くところまで、年齢に応じた手伝いをお願いし、それぞれが楽しく行ってくれました。また、「こういった作る経験ができるのがありがたい」といった声や、「お友達が焼いたホットケーキは食べたい!」といった声も聞かれました。アイスクリームをトッピングできるようにして食べましたが、大人気で多くの子の喜んでいる様子が見受けられました。

～事業を終えて～

### ○事業実施による効果

今年度、多くの人へ活動の理解も進み、足を運んでくれる人が増えました。これはデータとしてもあらわれており、参加人数の推移を見ても、昨年度は平均 40 名ほどであったのに対し、今年度は平均 60 名程の参加となり多くの人々が気軽に利用できる場になってきたと言えます。継続して手伝ってくれるボランティアスタッフも出てきていることで顔見知りの関係が構築できて、安心感のある場になってきているのを感じます。

また、学校にはなかなかいけていないお子さんも足を運んでくれています。学校とも連携をとり情報の共有を図っていますが、引き続き子どもたちに目を配りつつ安心して過ごせる場にしていきたいです。

### ○今後の課題・展開

今年度、継続的に手伝いを行ってくれる人や、手伝いについて声をかけてくれる人が増えてきていて、地域住民がみんな子どもたちの成長の場を育もうとしてくれている様子が伺えとてもありがたかったです。また様々なお手伝いの方も増えることで、調理・ワークショップ・全体管理など、運営分担が機能するようになってきていることも良い点としてあげられます。

今年度は、参加者が増えて一度にホールに座れる人数や対応にも限界があると感じたため、食事の時間を二部制として対応することにしました。11 月～1 月の活動では定員よりも多くの人数が来てくれ、受け入れられず断ったケースもありました。今後、子どもたちが増えていった際の対応など改めて考えていく必要を感じています。同時に、大人数で足を運びづらいと言った気持ちを抱いている子の声も聞いています。不登校の子なども含め、例えば少人数限定で夕飯を囲む場を作るなど、地域の実情や様々な人のニーズも聞き取りながら、他にもできる提供の形がないか模索し実行していきたいと考えています。

### ○まとめ

今年度も委託を受けることで、無事に一年間開催することができました。本当にありがとうございました。学校ではないような、他学年と一緒にご飯を囲んだり、調理実習をしたりするといっ

た体験、食事やワークショップ等を通じて地域の大人と触れ合うことが、子どもたちやもちろん保護者にとってもとてもいい時間になっていることが改めて分かりました。

スタッフも少しずつですが、子どもたちの生活している背景や性格などを理解してきており、スタッフ間で勉強会や打ち合わせをするなどして共有もできるような体制ができてきました。今後も引き続き、子どもたちにとってより良い藤子食堂の形はどういった形か、どんな支援やどんな場になるといいのかを常に考えつつ、継続して活動を続けていきたいと考えています。